

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会
拠点設置検討部会(第3回) 会議録

日 時	平成 30 年 12 月 26 日 (水) 午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで
場 所	ホテルアソシア静岡 15 階「ベラビスタ」
出席者 職・氏名	出席委員：7名（敬称略） 宮地良樹、鬼頭宏、徳永宏司、中山健夫、松田文彦、宮田裕章、望月律子 ※宮田委員は web による遠隔参加 欠席委員：1名（敬称略） 鶴田憲一 事務局 県参与 山口重則 健康福祉部部長 池田和久 健康福祉部部長代理 藤原学 健康福祉部理事 鈴木宙志 健康福祉部管理局長 前島稔生 健康福祉部理事 土屋厚子 ほか健康福祉部職員
議 題	1 大学院大学の設置に係る基本構想（案）について 2 その他
配布資料	議事次第 資料 1 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会拠点設置検討部会委員名簿 資料 2 大学院大学の設置に係る基本構想（案）概要版 資料 3 大学院大学の設置に係る基本構想（案） 参考資料 平成 30 年 12 月県議会定例会 知事提案説明要旨 参考資料 社会健康医学関連新聞記事

1 審議事項

(1) 大学院大学の設置に係る基本構想（案）について

2 審議内容

池田健康福祉部長から、資料 2、3 により「大学院大学の設置に係る基本構想（案）」について、説明した後、各委員による議論を行った。

(1) 大学院大学の設置に係る基本構想（案）について

（基本理念について）

- ・ 「県民のため」に知と人材の集積拠点を作るということは良い理念であるが、その拠点が、国民に対して何をもたらずかという点が入っていないのが残念である。「国際社会に貢献する」といった文言を入れてはどうか。
- ・ 社会健康医学研究推進基本計画では、「健康寿命の延伸」と「県民」がキ

ーワードであったため、「健康寿命の延伸」を入れた方がよいのではないか。

(4つの基本方針について)

- 4つの柱立てはよいが、4つ目の「社会健康医学の拠点」の内容が、1～3つ目の柱の内容の繰り返しとなっている。
- 4つ目の内容を、「上記の3つを踏まえ、国際社会に貢献できる知と人材の集積拠点を目指す」といった説明に修正した方がよい。

(アドミッションポリシーについて)

- アドミッションポリシーと養成する人材像の内容が重複している。どんな付加価値を付け、どのような人材を養成するか、その差がわかるように言葉を付け加えた方がよい。
- アドミッションポリシーは、理念的なものでよいのではないか。例としては、「健康と医療、環境に対する高いリサーチマインド」を持っている人などに入学していただきたいという旨の記載でよいのではないか。